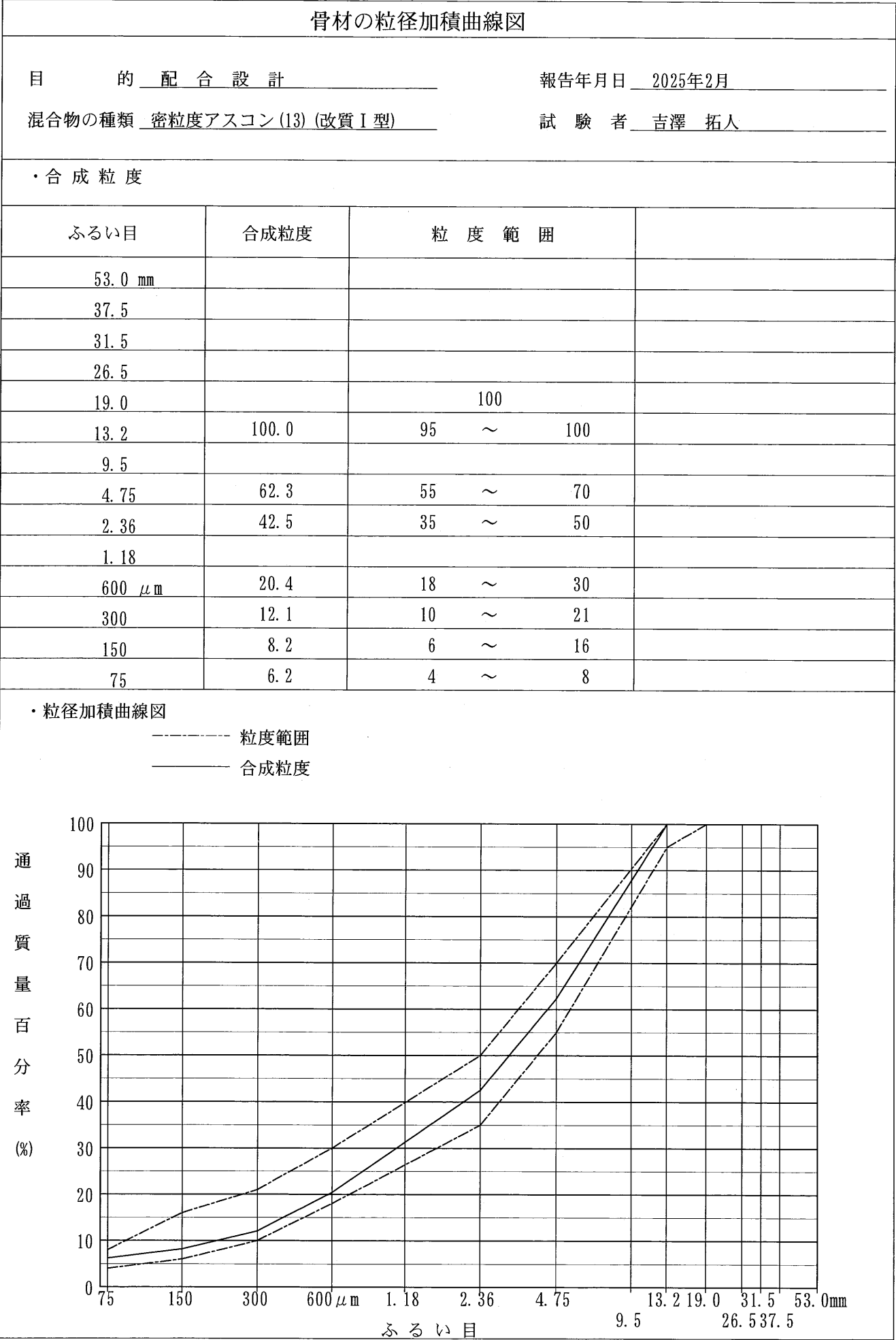


品 名 密粒度アスコン(13) (改質 I 型)

アスファルト混合物配合報告書														
報告年月日 2025年2月														
製造工場名 大成ロテック(株)鳥取合材工場														
混合物の種類 密粒度アスコン(13)(改質I型)										報告者 吉澤 拓人				
工事名称														
所在地														
納入予定時期														
1. 使用材料の種類及び産地														
材料の種類		製造会社名			産 地			材 質						
6号碎石		(株)北部碎石			岡山県美作市			粘板岩						
7号碎石		(株)北部碎石			岡山県美作市			粘板岩						
粗砂		(株)住若			佐賀県唐津市			海砂						
スクリーニングス		(株)北部碎石			岡山県美作市			粘板岩						
石粉		足立石灰工業(株)			岡山県新見市足立			石灰石粉						
カーフィックス		昭和瀝青工業(株)			兵庫県姫路市			ポリマー改質AS I 型						
2. 配 合 割 合														
材 料	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉									
配合割合(%)	38.0	18.5	9.0	31.0	3.5									
3. 合 成 粒 度														
ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通 過 率						100.0	—	62.3	42.5	—	20.4	12.1	8.2	6.2
4. 室内配合アスファルト量及び製造の温度・時間等														
アスファルト量 (%)	密 度 (g/cm3)	空隙率 (%) (3~6)		飽和度 (%) (70~85)		安定度 (kN) (4.9以上)		フロー値 (1/100cm) (20~40)		理論密度 (g/cm3)		突固め回数 (回)		
5.3	2.378	5.2		70.1		8.01		27		2.508		50		
アスファルト 温度 (℃)	骨材の加熱 温度 (℃)													
178	190													

骨 材 試 験 成 績 表									
目 的 配 合 設 計					報告年月日 2025年2月				
					報 告 者 吉澤 拓人				
試験項目		試験規格	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーングス	石粉		
密度	表乾	JISA 1109 JISA 1110	2. 681	2. 682	2. 594	2. 648			
	かさ		2. 651	2. 652	2. 557	2. 596			
	見掛		2. 734	2. 733	2. 654	2. 739	2. 720		
吸 水 量 (%)		JISA 1109 JISA 1110	1. 14	1. 12	1. 42	2. 01	0. 02		
パンデル すりへり減量 (%)		JISA 5001 JISA 1121	11. 8						
安 定 性 (%)		JISA 1122							
骨材の微粒分量 試験通過量 (%)		JISA 1103							
軟石 含有量 (%)		JISA 1126							
偏平/細長石片 の含有量 (%)		舗装調査・ 試験法便覧							
単位容積質量 g/ml		JISA 1104	1. 53	1. 52	1. 62	1. 78			
粘土塊含有率 (%)		JISA 1137	0. 09						
通 過 質 量 百 分 率 (%)	ふるい目の開き	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーングス	石粉			
	53. 0 mm								
	37. 5								
	31. 5								
	26. 5								
	19. 0	100. 0							
	13. 2	99. 9	100. 0	100. 0					
	9. 5								
	4. 75	1. 2	98. 9	99. 7	100. 0				
	2. 36		0. 3	96. 4	97. 4				
	1. 18								
	600 μm			47. 8	40. 8				
	300			12. 2	24. 3	100. 0			
	150			1. 1	15. 2	98. 1			
	75			0. 3	9. 9	88. 3			

[illegible]



混合物の理論最大密度計算表						
目 的		配 合 設 計		報告年月日 2025年2月		
混合物の種類		密粒度アスコン(13)(改質I型)		試 験 者 吉澤 拓人		
①	②	③			④	⑤
骨材の種類	骨材の配合率 (%)	骨材の密度			計算に用いる密度	$\frac{②}{④}$
		表乾	かさ	見掛		
6号碎石	38.0	2.681	2.651	2.734	2.734	13.899
7号碎石	18.5	2.682	2.652	2.733	2.733	6.769
粗砂	9.0	2.594	2.557	2.654	2.654	3.391
スクリーングス	31.0	2.648	2.596	2.739	2.739	11.318
石粉	3.5			2.720	2.720	1.287
$\Sigma ⑤ =$						36.664
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
アスファルト量 (%)	アスファルト の密度	$\frac{⑥}{⑦}$	$\frac{\Sigma ⑤ (100 - ⑥)}{100}$	⑧ + ⑨	理論最大密度 $100 / ⑩$	
4.0	1.029	3.887	35.197	39.084	2.559	
4.5	1.029	4.373	35.014	39.387	2.539	
5.0	1.029	4.859	34.831	39.690	2.520	
5.5	1.029	5.345	34.647	39.992	2.501	
6.0	1.029	5.831	34.464	40.295	2.482	
5.3	1.029	5.151	34.721	39.872	2.508	

マーシャル安定度試験（その1）

目的 配合設計

試験年月日 2025年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13) (改質I型)

試験者 吉澤 拓人

アスファルトの種類 ポリマー改質AS I型 アスファルトの密度(A) 1.029 g/cm³ アスファルトの温度 178 (°C)

骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 165 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数(B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm3)	密かさ (g/cm3)	度理論 (g/cm3)	アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度		フロー値 (1/100cm)	備考
														力計の読み	安定度 (kN)		
							(注1)	(注2)	$\frac{① \times ⑦}{(A)}$	(注3)	$⑨ + ⑩$	$\frac{⑨}{⑪}$		(B) $\times$ ⑬			
標準	1	4.0	6.24	1195.8	706.5	1198.2	491.7	2.432						7.13	7.13	20	
	2		6.24	1194.3	707.2	1196.9	489.7	2.439						7.44	7.44	24	
	3		6.23	1194.8	707.1	1197.2	490.1	2.438						7.69	7.69	26	
標準	4	4.5	6.28	1199.3	707.2	1201.3	494.1	2.427						7.33	7.33	26	
	5		6.29	1199.8	708.6	1201.9	493.3	2.432						7.45	7.45	25	
	6		6.26	1200.1	708.9	1202.0	493.1	2.434						7.71	7.71	23	
標準	7	5.0	6.34	1204.9	702.8	1206.5	503.7	2.392						8.10	8.10	26	
	8		6.34	1204.8	702.9	1206.5	503.6	2.392						7.81	7.81	26	
	9		6.36	1204.3	703.5	1205.9	502.4	2.397						7.69	7.69	29	
標準	10	5.5	6.38	1210.5	701.9	1211.5	509.6	2.375						8.23	8.23	29	
	11		6.38	1210.9	701.8	1212.0	510.2	2.373						8.03	8.03	27	
	12		6.41	1211.4	701.5	1212.5	511.0	2.371						8.00	8.00	27	
標準	13	6.0	6.41	1215.6	704.2	1216.1	511.9	2.375						8.42	8.42	30	
	14		6.40	1215.3	705.5	1215.9	510.4	2.381						8.23	8.23	33	
	15		6.41	1215.1	705.0	1215.6	510.6	2.380						8.23	8.23	33	

(注1) ⑤-④

(注2) $\frac{③}{⑥}$

(注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

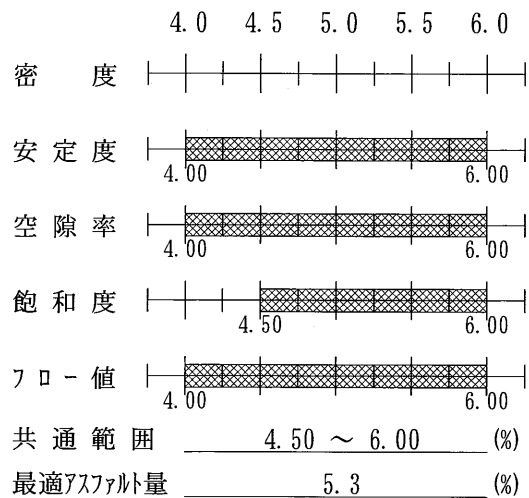
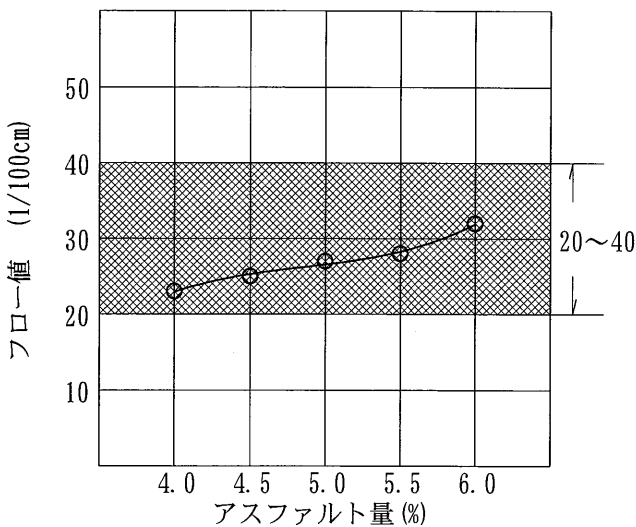
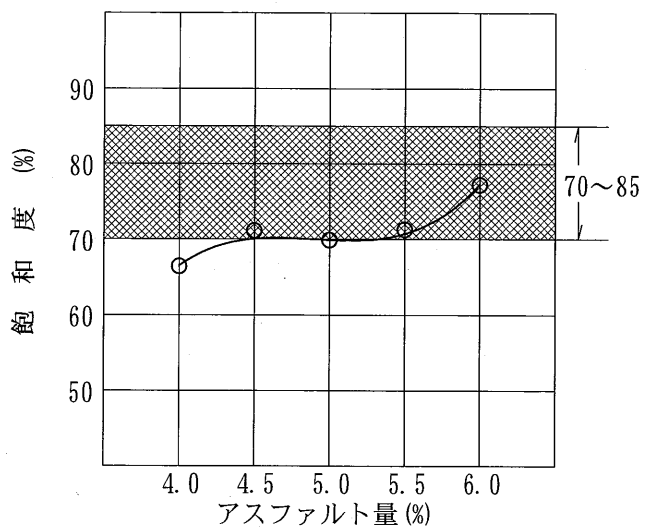
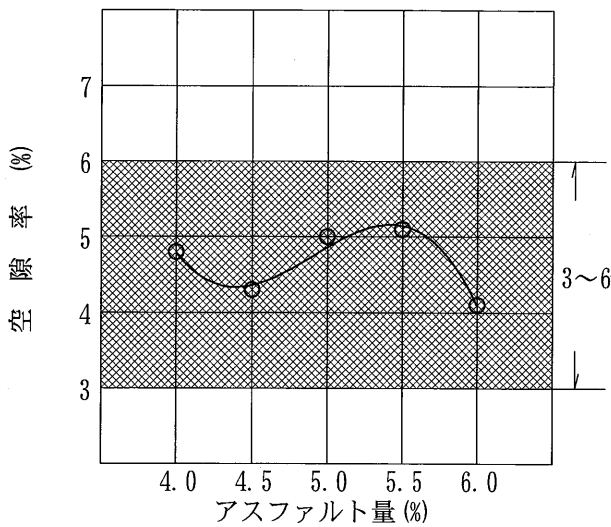
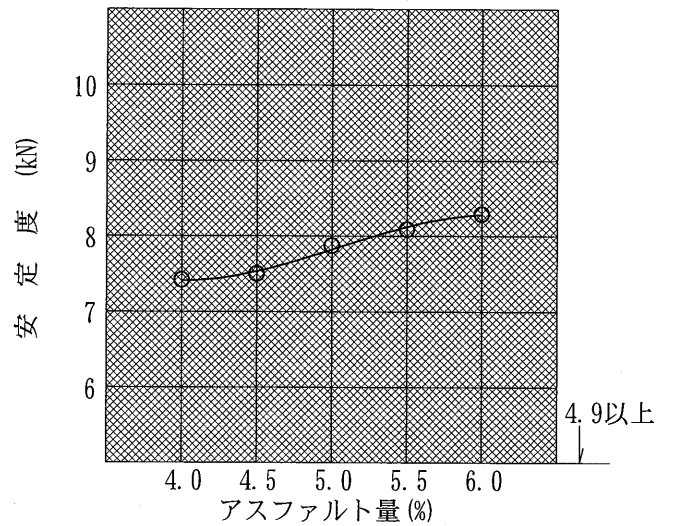
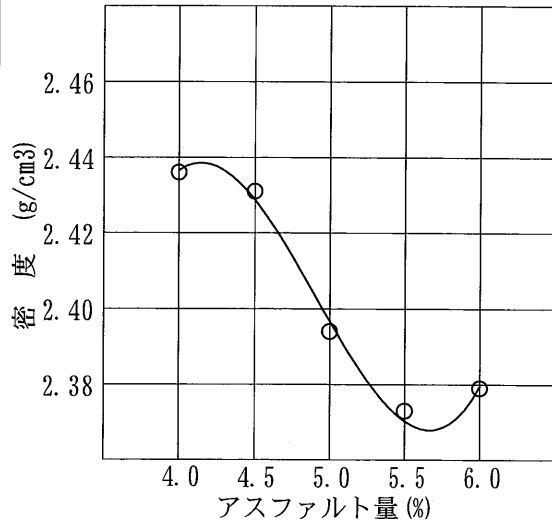
マーシャル安定度試験 (その2)

目的 配合設計

試験年月日 2025年2月

混合物の種類 密粒度アスコン (13) (改質I型)

試験者 吉澤 拓人



配合設計まとめ														
混合物の種類 密粒度アスコン(13) (改質I型)										報告年月日 2025年2月				
試験者 吉澤 拓人														
1. 骨材配合率														
材 料	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーングス	石粉									
配合率 (%)	38.0	18.5	9.0	31.0	3.5									
2. 合成粒度														
ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過率						100.0	—	62.3	42.5	—	20.4	12.1	8.2	6.2
3. 最適アスファルト量														
OAC・・・ 5.3 %														

マーシャル安定度試験（その1）

目的 試験練り

試験年月日 2025年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13) (改質I型)

試験者 吉澤 拓人

アスファルトの種類 ポリマー改質AS I型 アスファルトの密度(A) 1.029 g/cm³ アスファルトの温度 178 (°C)

骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 165 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数(B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ 密度		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm3)	かさ (g/cm3)	理論 (g/cm3)	アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度		フロート値 (1/100cm)	備考	
														力計の読み	安定度 (kN)			
							(注1)	(注2)		$\frac{① \times ⑦}{(A)}$	(注3)	$⑨ + ⑩$	$\frac{⑨}{⑪}$		$(B) \times ⑬$			
標準	1	5.3	6.34	1205.2	700.8	1206.8	506.0	2.382						8.21	8.21	24		
	2		6.34	1205.9	701.4	1207.3	505.9	2.384					8.03	8.03	24			
	3		6.30	1204.4	701.3	1205.9	504.6	2.387					7.75	7.75	28			
								2.384	2.508	12.3	4.9	17.2	71.5		8.00	25		
																	</	

(注1) ⑤－④

(注2) $\frac{③}{⑥}$

(注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

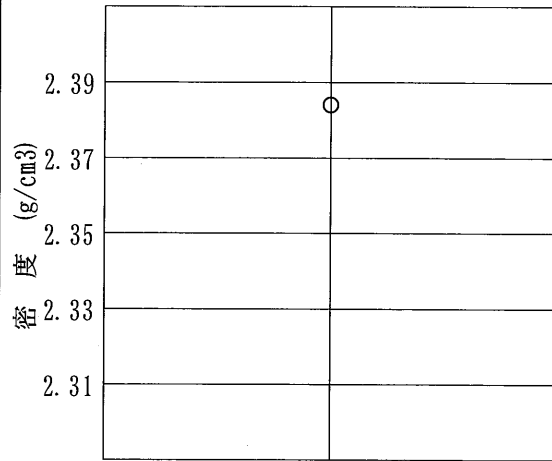
マーシャル安定度試験 (その2)

目的 試験 練り

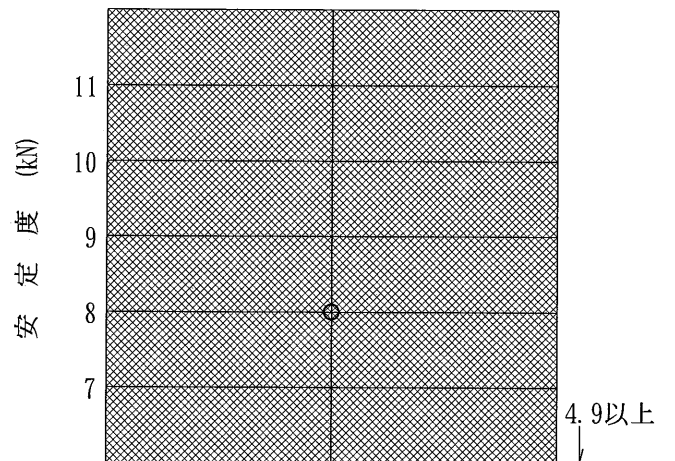
試験年月日 2025年2月

混合物の種類 密粒度アスコン (13) (改質 I 型)

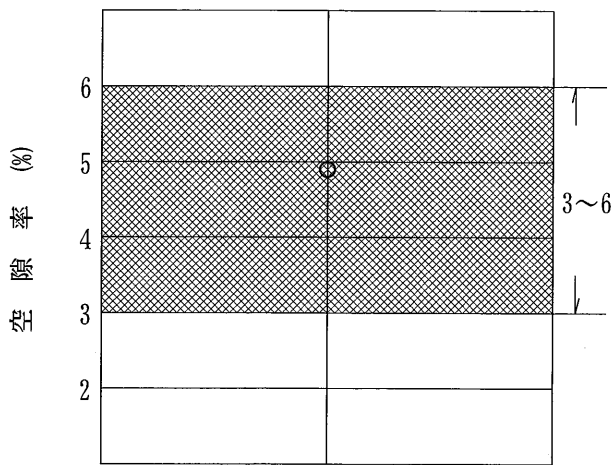
試験者 吉澤 拓人



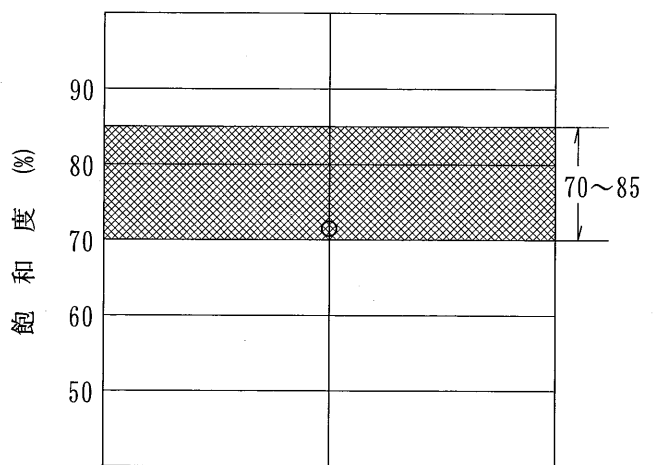
5.3
アスファルト量 (%)



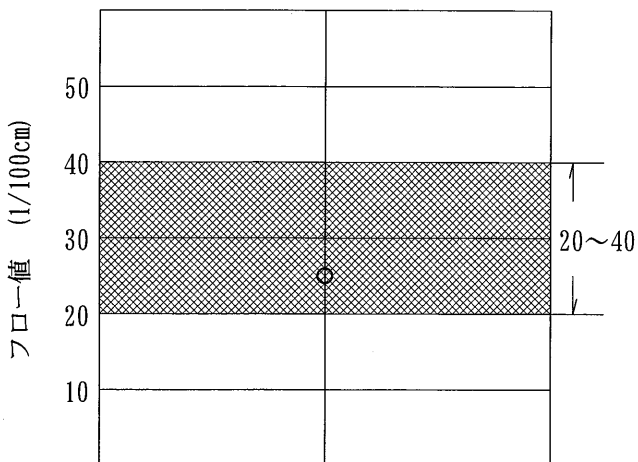
5.3
アスファルト量 (%)



5.3
アスファルト量 (%)



5.3
アスファルト量 (%)



5.3
アスファルト量 (%)

ホットビン粒度設計

目的 試験練り

報告年月日 2025年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13) (改質I型)

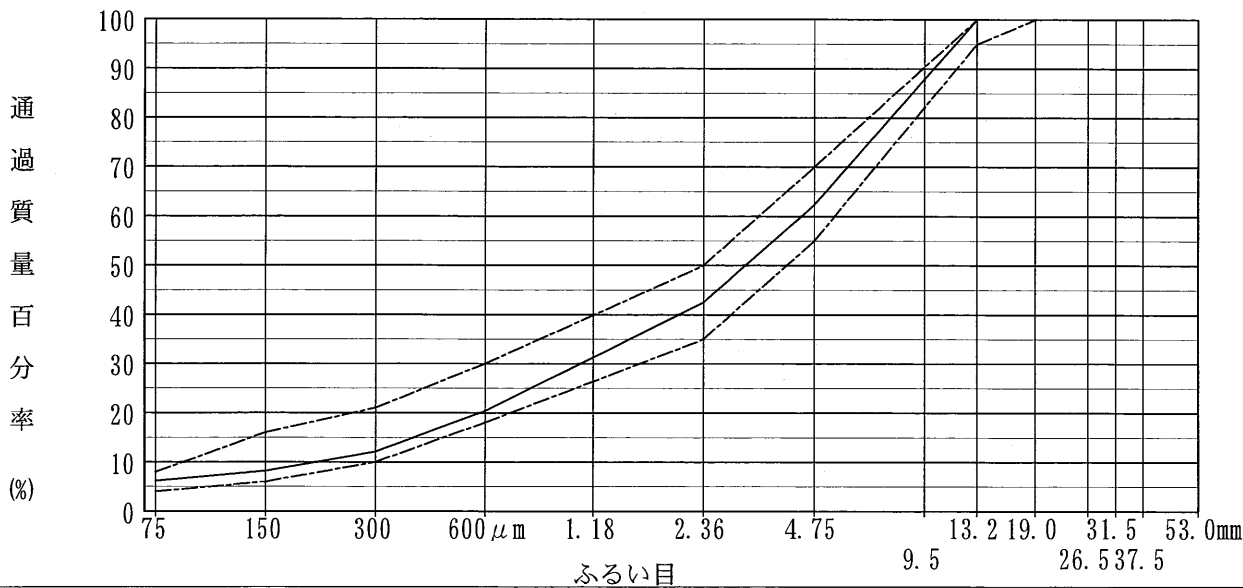
試験者 吉澤 拓人

ビン		5 BIN	4 BIN	3 BIN	2 BIN	1 BIN	ダスト	石粉					
配合率 (A) (%)				38.0	19.5	35.5	2.0	5.0					
通過質量百分率	53.0 mm												
	37.5												
	31.5												
	26.5												
	19.0			100.0									
	13.2			99.9	100.0								
	9.5												
	4.75			0.7	99.8	100.0							
	2.36			0.3	0.3	99.5							
	1.18												
(B)	600 μm				0.1	37.8	100.0						
	300					14.4	99.8	100.0					
(%)	150					3.9	94.8	98.1					
	75					0.3	85.6	88.3					

ホットビンのふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B) / 100													合成粒度	粒度範囲
ふるい目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
53.0 mm														
37.5														
31.5														
26.5														
19.0			38.0											100
13.2			38.0	19.5									100.0	95 ~ 100
9.5														
4.75			0.3	19.5	35.5								62.3	55 ~ 70
2.36			0.1	0.1	35.3								42.5	35 ~ 50
1.18														
600 μm				0.0	13.4	2.0							20.4	18 ~ 30
300					5.1	2.0	5.0						12.1	10 ~ 21
150					1.4	1.9	4.9						8.2	6 ~ 16
75					0.1	1.7	4.4						6.2	4 ~ 8

粒径加積曲線図

----- 粒度範囲 ————— 合成粒度



ホイールトラッキング試験					
混合物の種類 密粒度 (13) 改質 I 型			試験年月日 2025年02月		
混合物の基準密度 2.384 (g/cm3)			試験者 吉澤 拓人		
供試体の作製場所 ① 室内 2. 現場 3. 現場切取り 換算係数 C2= 1.0					
試験条件	上載荷重 686 N		60℃接地圧 0.626 MPa		
	試験温度 60 ℃		走行回数 42		
	走行方式 ① クランク式 2. チェーン式 換算係数 C1= 1.0				
供試体の No.		1	2	3	平均
① 供試体の密度 (g/cm3)		2.388	2.375	2.384	2.382
② 供試体の締固め度 (%)		100.2	99.6	100.0	99.9
変形量 (mm)	③ d30 ④ d45 ⑤ d60	1.09 1.38 1.50	1.04 1.33 1.46	1.19 1.48 1.60	
⑥ 変形量の差 (mm)	⑤-④	0.12	0.13	0.12	⑦ 0.12
⑧ 動的安定度 (DS) (回/mm)	$X = \frac{15}{⑥} \times 42 \times C1 \times C2$	5250	4850	5250	
⑨ 平均動的安定度 (DS) (回/mm)	$\frac{15}{⑦} \times 42 \times C1 \times C2$				⑩ 5250
⑪ 平均値との差の平方	$(⑩ - X)^2$	0	160000	0	
⑫ 標準偏差	$S = \sqrt{\sum ⑪ / n - 1}$				⑬ 283
⑬ 変動係数 (%)	⑬/⑩				5.4
圧密変形量 (mm)	do				
時間-変形量曲線の形状		直線	直線	直線	
備考					